

発刊の ことば



天皇皇后両陛下をはじめ多くの皇族方の御臨席を仰ぎ、「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」をスローガンに開催いたしました天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」は、全国から総数77万1、188名の皆様にご参加いただくとともに、茨城県選手団の活躍により本県として45年ぶりの天皇杯・皇后杯両賜杯の獲得という大変喜ばしい結果をもって、成功裡に終えることができました。

本大会が未来への飛躍につながる素晴らしい大会となりましたことを心から感謝し、お礼申し上げます。

総合開会式のオープニングプログラムや式典前演技などでは、4千名以上の県民による伝統芸能やダンスなどを披露し、茨城の歴史、文化、自然、未来などを全国に紹介することができました。

県内市町村で行われた競技は、どの競技会場も毎日多くの観客による声援で大変盛り上がりおりました。

今後、こうした盛り上がりをお県の競技力の向上をはじめさらなるスポーツ振興につなげることができるよう努めてまいります。

今回の国体では、文化プログラムの一環として全国初「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019IBARAKI」を開催しました。大会には予選を含め延べ約1万5千名もの方々に参加いただいたほか、本大会当日には国内外から130社以上の報道機関が会場に取材に訪れるなど、大変高い注目を浴びました。無事に大会を終えることができ、茨城国体の認知度向上とスポーツへの関わりの薄い方も含めた国体への参加促進という当初の目的を達成できたものと考えております。

一方、第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」につきましては、台風19号の接近により、中止とさせていただきました。開催決定から5年間にわたる準備、全国から来県する選手団、開催を待ちわびる本県選手や県民など、関係者のこれまでの努力と心情を思うと非常に残念でありましたが、何よりも選手や県民の安全を第一に考えた末の苦渋の決断でした。後日、全国障害者スポーツ大会を皆様に広く知っていただくため、大会競技種目の紹介や大会のメダルなどの資料を展示したところ、県内外から2万名を超える方々にお越しいただきました。今後もさらに障害者スポーツの振興に努めてまいります。

本誌は、この度の数多くの思い出と感動を末永く皆様の心にとどめていただくため作成いたしました。より多くの皆様に広く御高覧を賜れば幸いに存じます。

結びに、今回、全国から参加いただいた選手、役員など関係者の皆様、各競技の運営を支えていただきました多くの県民の皆様、選手たちの熱いプレーに精一杯の応援をしていただきました皆様、そして長年にわたり両大会の準備にご尽力をいただきました県内市町村、各競技団体や関係諸団体、ボランティアの皆様など多くの関係者の方々に深く感謝申し上げます。発刊のことばといたします。

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会会長

茨城県知事 大井 和彦